

## 会 議 記 録

会議名 予算特別委員会総務分科会

開催日 令和4年3月1日(火) 開会 午後 1時00分

閉会 午後 2時57分

出席者 委 員 分科会長 中 島 克 訓

大 浦 兼 政 青 木 一 男 入 野 登志子

関 口 孫一郎 梅 澤 米 満 福 田 裕 司

天 谷 浩 明

傍 聴 者 浅 野 貴 之 川 上 均 古 沢 ちい子

大 谷 好 一 坂 東 一 敏 内 海 まさかず

小久保 かおる 針 谷 育 造 千 葉 正 弘

白 石 幹 男 広 瀬 義 明 針 谷 正 夫

---

事務局職員 事務局長 神 永 和 俊 議事課長 江 面 健太郎

主 査 藤 澤 恭 之 主 査 大 川 優 斗

委員会条例第21条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

総合政策部長	増山昌章
危機管理監	福田栄治
経営管理部長	大野和久
地域振興部長	永島勝
地域振興部参事	飯島正則
地域振興部参事	佐藤義美
会計管理者	佐山美枝
消防長	小島徹
監査委員事務局長	大木多津子
総合政策部副部長兼 総合政策課長	横倉延男
総合政策課スポーツ連携室長	茂呂一則
秘書課長	癸生川亘
広報課長	茅原節子
行財政改革推進課長	狐塚光紀
情報システム課長	須見誠
危機管理課長	間中正幸
国体推進課長	大豆生田雅志
経営管理部副部長兼 総務課長	寺内秀行
職員課長	小川稔
経営管理部参事兼 契約検査課長	木村浩二
管財課長	白井秀明
財政課長	小野寺正明
経営管理部参事兼 税務課長	白井一之
税務課主幹	海老沼博行
収税課長	奈良部和紀
地域政策課長	加茂浩史
大平地域づくり推進課長	田中典行
大平地域づくり推進課主幹	小林喜美江
藤岡地域づくり推進課長	寺崎公夫
藤岡地域づくり推進課主幹	久村順利

都賀地域づくり推進課長	川	又	俊	行
都賀地域づくり推進課主幹	茂	木	紀	子
西方地域づくり推進課長	中	田	治	彦
西方地域づくり推進課主幹	牧	野	知	之
岩舟地域づくり推進課長	岩	崎		充
岩舟地域づくり推進課主幹	落	合	美	知代
蔵の街課長	清	水	孝	之
市民スポーツ課長	押	山	好	孝
渡良瀬遊水地課長	山	野井	広	実
会計課長	西	丸	美	恵子
消防総務課長	鈴	木	宏	之
消防総務課主幹	中	村		聡
予防課長	栗	田		誠
警防課長	中	山	全	良
通信指令課長	小	高	照	明
副署長兼消防第1課長	本	名	義	人
副署長兼消防第2課長	小	川	信	幸
選挙管理委員会事務局次長	石	川	徳	和
監査委員事務局次長	瀬	下	佳	子
議事課長	江	面	健	太郎

令和4年第2回栃木市議会定例会  
予算特別委員会総務分科会議事日程

令和4年3月1日 総務常任委員会終了後 全員協議会室  
日程第1 議案第3号 令和4年度栃木市一般会計予算（所管関係部分）

---

◎開会及び開議の宣告

○分科会長（中島克訓君） ただいまの出席委員は8名で、定足数に達しております。

ただいまから予算特別委員会総務分科会を開会いたします。

（午後 1時00分）

---

◎諸報告

○分科会長（中島克訓君） 当分科会に送付された案件は、各分科会議案送付区分表のとおりであります。

---

◎議事日程の報告

○分科会長（中島克訓君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

---

◎議案第3号の上程、質疑

○分科会長（中島克訓君） ただいまから議事に入ります。

日程第1、議案第3号 令和4年度栃木市一般会計予算の所管関係部分を議題といたします。

なお、本予算に対する説明は2月18日に開催された予算特別委員会全体会及び各分科会説明表の送付をもって済んでおりますので、分科会での説明は省略いたします。

また、分科会では質疑のみを行い、討論、表決については3月16日水曜日に開催される全体会において実施しますので、よろしく願いいたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。本案については、各部所管ごとに歳入歳出等を一括して審査いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

なお、執行部の答弁に際しましては、担当課長のみならず質疑の内容によりましては担当部長等にご答弁をいただくこともありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

まず、総合政策部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の総合政策部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

それでは、質疑をお願いします。

入野委員。

○委員（入野登志子君） 予算書の137ページで、主要事業のほうに入っています外国人住民支援事

業交付金なのですけれども、昨年に比べると予算的に増えています。これは、国際交流協会のほうに出ているものだと思うのですけれども、特に主要事業として上げられていますので、今までとは違う何か取組があるのかどうかお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 答弁をよろしくお願いします。

横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） お答えを申し上げます。

この外国人住民支援事業交付金につきましては、こちら国際交流協会に交付をするものでございますが、内容としまして、主な事業としまして外国人の生活の相談事務、また行政文書等の外国語への翻訳などが主な事業となっております。この外国人におきましても年々増加傾向にありまして、特にここのところの大きな災害、またコロナ禍によりまして相談事業が大変増えている。また、多岐にわたります、その相談内容につきましても簡単な相談ということではなく、例えば病院にかかりたい、その場合にどういった、病院に行く方法とかそのようなこともありまして、そのようなことを支援するためにもこの交付金というものを出しておりまして、大きくはその相談事業が増えていることに対しましての、今までの支援員が週に1度市役所のほうに来ておりまして、そのほか2日間の勤務体制を増やしまして、そのほかの日につきましては、国際交流協会のほうで対応しているなど、そのようなことが新たに加わったところでもございます。

以上でございます。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

福田委員。

○委員（福田裕司君） 同じ項目、ページなのですが、関連で質問させていただきます。事業内容の一つに、今課長もおっしゃられた外国人の通訳をやるよということで、現在栃木市に、本市にいる外国籍の方の国といたらいいのかな、何か国ぐらいあるのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 答弁願います。

横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） 全体ですと、申し訳ありません、ちょっと手持ちがございませんので、ただかなりの数だとしか、ちょっと言えないところなのですけれども、これは昨年10月1日現在の人数ということになってしまいますが、栃木市内ですと全体で4,206名の外国人の方がいます。特に多くがベトナム人の881名をはじめとしまして、フィリピン、ネパール、ペルー、中国といった上位が、毎年のように同じぐらいの数がありますが、中には1名ないし2名という国の方もいらっしゃいますので、全体の数といえますと、ちょっとここで答えできないのですが、相当な数ということぐらいしか言えないのですが、そのぐらいの人数がいます。

○分科会長（中島克訓君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 詳しく全体の人数知りたかったわけではなくて、私が心配したのは、その中

で外国籍、国が違うところがたくさんあるということは、通訳の方が何人ぐらい配置されていて、そのオーダーに応えられているのかなというのが、ちょっと気になったところなのです。では、質問しなければいけないので、通訳の配置人数というのを教えてください。

○分科会長（中島克訓君） 横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） お答えをいたします。

先ほど申し上げました、市役所に来ている通訳の方、相談事している方、また国際交流協会で日中対応している方につきましては、スペイン語とポルトガル語が話せる職員といますか、国際交流協会の職員でございます。それを常時配置されておりまして、そのほか職員の中で英語を話せる方がおります。ただ、あとは特に通訳をできる方という方がちょっといない状態でございますが、スペイン語とポルトガル語が話せる方が常時いるという状態でございます。

○分科会長（中島克訓君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） そうすると、相談者の目的とする業務が成り立っているのかなというのが、ちょっと心配だったのです。今その通訳の方からそういった、ご相談という言い方ないのですけれども、市のほうに連絡があったりとかしていないのでしょうか、どうでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 答弁をお願いします。いいですか。

横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） これにつきましては、相談につきましては、確かにかなりの多くの国の方がいらっしゃいますので、言葉の壁といたしますか、通じないというところはございます。また、翻訳機といたしますか、それを使った対応を行っておると聞いておりますので、ある程度といたしますか、ちょっと答え方としては大変失礼になってしまいますが、ある程度の対応というか、それはできているのではないかなとは思っておりますが、確かに相談員がいないということは、すぐに対応ができないということもあると思われまますので、それについては今後の課題ということにさせていただきたいと思えます。

○分科会長（中島克訓君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） そうなのだと思います、私も。以前総合支所なんかにも翻訳機を入れてというの確認しているのですけれども、それで随分助けられたということを知ったのですけれども、冒頭課長のほうからやっぱり込み入った、コロナも含めて病院の行き場所とか、そういうの確認したいというわけではないですか。やっぱり本当にそれでちゃんとした説明してあげられないと、かえってストレスたためてしまうというか、相談者に対して。

ちょっと心配しているのが、それから犯罪のほうだとか、そういうところに走るのも怖いなのがあるが、むしろ予算が313万5,000円ですか、これで本当に足りているのかなというところ、ちょっと懸念したわけです。ただむやみに増やせばいいのではなくて、所定のこの目標を達成するためには、やっぱりそういったところに気を配られて業務遂行したほうがいいのではないかな

という、私の個人的な意見です。

○分科会長（中島克訓君） これは要望でよろしいですか。

○委員（福田裕司君） 何かあれば。

○分科会長（中島克訓君） 横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） いろいろ大変貴重な意見をありがとうございます。こちらとしても、ぜひとも検討していかなければならないことだと思いますので、参考とさせていただきます。大変ありがとうございます。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ございませんか。

関口委員。

○委員（関口孫一郎君） 115ページ、まずは総務寄附金のほう、ちょっとお聞きしたいと思います。

今回予算では8億126万円と、かなり高額な予算が組まれております。前年度の当初予算が5億円ちょっとですから、3億円増加になっております。確かにふるさと応援基金が増えているよという話は我々聞いておるのですが、前年度からこの3億円増加になった主な要因というか考え方、お聞かせ願いたいと思います。

○分科会長（中島克訓君） 横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） お答えを申し上げます。

この内訳につきましては、ふるさと納税、ふるさと応援寄附金が8億円と、企業版のふるさと納税が100万円ということで、この中の大部分を占めまして8億と100万円ということでございます。

このふるさと納税につきましては、今年度補正を組ませていただきまして、8億円ということで補正を組ませていただいたところでございます。今現在、まだ年度が終わっておりませんので、決算は出ておりませんが、それにかかなり近い数字まで今来ているところでございます。

その内容につきましては、特に人気の高い商品につきましては、今までの議会などでご報告をいたしました。サントリー商品、またウナギ等でかなり収入があるものでございます。これにつきましては6月議会、また9月議会等でお答えしました際にさらに伸ばしておりまして、人気の高い商品でございます。そのほかに今年度始めたものにつきましては、ピザの世界チャンピオンの方がいまして、その方のピザ6枚セットというものが人気を集めているというものもあります。

また、渡良瀬遊水地におきまして熱気球の搭乗体験ということで、これは係留型のものでございますけれども、そちらの利用もかなり伸びているということで、それらを見込みまして、新年度予算につきましてふるさと納税で8億円ということで立てさせていただいたところでございます。

○分科会長（中島克訓君） 関口委員。

○委員（関口孫一郎君） そういった返礼品という部分も確かにあろうかと思うのですが、このふるさと納税というものに関しては、本来返礼品とかそういう部分ではなくて、その地域に貢献したいよというのが本来のふるさと納税の形かなと思うのですがけれども、そういった部分、ほかの自治体



でも伸び悩んでいる自治体、数々あるわけですよ。栃木市は、かなりの伸び率を示しているのかなという感じはするのですが、これは返礼品がバリエーションがいろいろあって、返礼品がいいから伸びたという感覚でよろしいのか、本来は違うような気もするのですが、その辺いかがでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 増山総合政策部長。

○総合政策部長（増山昌章君） では、その点については私からお答えを申し上げます。

議員おっしゃるとおりでありまして、栃木市を応援していただくという趣旨で十幾つのコースをつくって、栃木市に市外、県外から、全国から寄附していただくと、まず市を応援していただくということが一番の趣旨ではありますが、現実といたしますと、正直返礼品の競争になっているところはございます。

市といたしましては、2つ大きな目的があるというふうに思っておりまして、執行部といたしましてはもちろん財源の確保ということ、それからやっぱり地場産品の振興と申しますか、地域経済の振興には間違いなくつながっているというふうに思っておりますので、今後も議員がおっしゃった本来の趣旨、栃木市を応援していただくのだということを必ず踏まえた上で、やはりポータルサイトを充実させるとか、広報には力を入れていただいて、それとともに地元企業さん、生産者の方と力を合わせて地域経済の活性化の一助も担っていきたくと、このように考えております。

以上であります。

○分科会長（中島克訓君） 関口委員。

○委員（関口孫一郎君） 歳出のほうがあるわけですよ。145ページのふるさと応援寄附事業費として約4億円が計上されております。当然返礼品は3割以内であろうかと思うのですが、このルールはちゃんと栃木市は守っておられるということでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） 返礼品、3割以内ということがありますので、栃木市はそのとおりで守って行っております。

○分科会長（中島克訓君） 関口委員。

○委員（関口孫一郎君） ちょっと関連になってしまうかなと思うのですが、要は8億円予定をして、4億円が経費として出ます、4億円が市の財政に入りますよと。市から出ていくお金、それ、関連になってしまって申し訳ないのですが、どのぐらい出ていくのか分かりましたら。

○分科会長（中島克訓君） 答弁願います。

横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） これはデータで、令和2年度のものになってしまいますが、令和2年度におきましては、まずふるさと納税の受入額については5億700万円ということで、そのとき初めて5億円を超えたということでしたけれども、このふるさと納税につきま

しては、栃木市外の方からご寄附をいただくものでございますので、その反面、栃木市に住んでいる方がほかの市町村に寄附をされて、寄附金控除というものが市の、栃木市のほうからになりますけれども、その寄附金控除の額が1億2,700万円程度の額になります。

○分科会長（中島克訓君） 関口委員。

○委員（関口孫一郎君） 令和2年度になってしまうかもしれないのですが、それでトータルで返礼品等を加味しますとプラスになるのですか、マイナスになるのですか。

○分科会長（中島克訓君） 横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） これはプラスになっております。令和2年度の数字ですと、1億4,000万円ほどのプラスでということでございます。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

ほか質疑ございませんか。

入野委員。

○委員（入野登志子君） ページ数でいきますと、141ページのシティプロモーション事業費で、主要事業のほうにも書いてあります。令和3年度は、栃木市フルーツコンテスト開催してありまして、令和4年度におきましては、本市の食や地域資源を活用したプロモーション実施と書いてあるので、フルーツコンテストを去年やって、令和4年はまた違うところの取組をされるのですけれども、具体的にその地域資源とか食とか、どのようなことを考えられているのかどうかお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 茅原広報課長。

○広報課長（茅原節子君） お答え申し上げます。

令和3年度につきましては、先ほど議員のおっしゃったとおり栃木市フルーツスイーツコンテストというものを実施いたしまして、令和4年度につきましては、このフルーツスイーツコンテストの受賞作品を、市内外からいらっしゃってくださった皆様に食べ歩きをしていただくスタンプラリーのほうを計画しております。

また、併せてフルーツのほかにも、フルーツをメインとしてやっていくのですけれども、山歩きということでハイキングのほうも、今のところ市のインスタグラムのアカウトで紹介しておりまして、蔵の街もちろん魅力なのですが、蔵の街だけではない魅力についても引き続きプロモーションしていきたいと考えております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 入野委員。

○委員（入野登志子君） 物すごく楽しいイメージが湧いてきまして、フルーツ食べたりハイキングしたりとなると、結構時間的にもかかるようなコースになっていくかとは思っているのですけれども、どの辺に、どういうところに発信をされるのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 茅原広報課長。

○広報課長（茅原節子君） 発信の方法につきましては、市のホームページのほかSNSのアカウント、インスタグラムですとかツイッターなどもございますので、そちらを基に大々的に発表させていただきたいのと、報道機関の方にもどんどんプレスリリースのほうさせていただいて、宣伝のほうはお願いしていきたいと考えております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） すみません、167ページ、蔵の街市民ギャラリー管理運営費について、毎回毎回どうしてもあまり納得がいなくて、やっぱりあそこをまず市民ギャラリーに使うのは、当初仕方ないと思ってはいましたが、美術館として使っていたので、警備に関する機械の管理費、仕方ないのかなと思っていたのですけれども、これ必要なのでしょうか。市民ギャラリー、これあれですよね、この機械警備等の施設管理委託料って、あまり普通の展示場には要らないもので、美術館として使っていたから備えてあるものではないかなと思っています。正直、まずそこについて確認します。

○分科会長（中島克訓君） 横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） それでは、この施設管理の委託料等につきましては、まず機械警備ということで、これはその名のとおりで、警備の費用になりますけれども、そのほかにつきましては、これは二階建ての建物になっておりますので、建物の中にエレベーターがついております。リフトの保守点検ということ、また消防設備の保守点検、また自動ドアの保守点検ということで、それらの施設の管理委託料ということでかかる経費でございますので、これらについては必要最低限の経費ということで見込んでいるところでございます。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） 警備だけではなくて、リフトとかのもかかるということで、いろんなものが含めてだとは分かりましたが、950万円が毎年毎年かかるとなると、市民ギャラリースペースってどこにでも、土地買って造っても、こんな年間かからないのではないかなと思ってしまうのですが、使い道が当初なければ、これは仕方ないのですが、少しでも下げる努力はしていただきまして、美術館として使っていたものと市民ギャラリーとして使うもので、今度使用目的変わったわけですから、経費削減に努めていただき、ちょっと年間950万円の市民ギャラリーはどうしてもかかり過ぎると納得できませんので、ご理解いただきまして、努力をお願いいたします。今回に関しては仕方ないと思っています。

○分科会長（中島克訓君） 要望でよろしいですか。

○副分科会長（大浦兼政君） 要望です。

○分科会長（中島克訓君） よろしく申し上げます。

ほか質疑ございませんか。

天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 145ページなのですが、企画費であります。2つほどあります。まず、1つなのですが、ちょうど真ん中辺りですね、プロスポーツ連携事業費624万円であります。この連携業務委託料と書いてあります、ちょっとこっちの明細見ているのですけれども、どんなことが連携業務なのかなど。具体的にお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 茂呂スポーツ連携室長。

○総合政策課スポーツ連携室長（茂呂一則君） お答え申し上げます。

プロスポーツ、栃木市では3団体と連携協定を結んでいまして、1つが栃木シティフットボールクラブ、こちらはふるさと大使にもなっております。あと、もう一つが栃木ゴールデンブレーブス、こちら小山市に本拠地があるところですが、あともう一つ、最後が宇都宮ブリッツェンという自転車のチームでございまして、こちらのプロスポーツ団体を活用いたしまして、栃木市民限定で栃木市長が応援団を結成いたしまして、ストロベリーハーツというのを募集しているところがございますけれども、そちらのファン獲得とか、それと市民応援団のファン感謝祭費用とか、スポーツツーリズムの、今回企画運営事業費とか、それぞれのスポーツ団体が優勝した際の横断幕とか、看板作成委託料がこちらの主な事業費でございます。

○分科会長（中島克訓君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） ちょっとその再質問になります。何となく、ストロベリーカップと今言いました、サッカーだけなのかなみたいな感じがするのですけれども、これは総じてストロベリーカップというのがあるのですか、この3団体に対して。そういうことではないのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 茂呂スポーツ連携室長。

○総合政策課スポーツ連携室長（茂呂一則君） 滑舌が悪くて申し訳ございません。ストロベリーハーツでございました。栃木市民応援団ということで、ストロベリーハーツ。

○分科会長（中島克訓君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） では、ちょっと私の気持ちの問題、行きます。今市民のほうでも少し騒いでいる件があります。ぜひともこれをうまく利用するというか委託をきちっとやって、市民が理解できるような企画にしてもらいたいと、これは要望しておきます。

○分科会長（中島克訓君） 要望ですね、要望で。

〔「あと1つだ。いいですか、では」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） では、もう一つ、続けてその下の小平浪平生家整備事業費であります。これも、具体的なその整備委託をするのでしようけれども、内容が分かればお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 答弁申し上げます。

横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） この小平浪平生家整備事業につきましては、主に業務委託料が大きなものを占めております。

まず、1つが高木の剪定ということで、かなりこの敷地内に高い木がありまして、その落ち葉の関係もございまして、近所の方からちょっと落ち葉がひどいということもありますので、管理、もともとの所有者にも確認を取ったところでもございまして、木を剪定させていただきたいと考えております。その業務委託料がまず1つと、もう一つ、地質調査といひまして、それを新たに令和4年度で行いたいと考えております。この地質調査につきましては、住居が建っている地盤がどれだけの重みを支えられるかということで、この調査を行うものでございまして、この調査によりまして耐えられない場合には、また新たな調査をしまして、必要な補強をしていきたいと考えているものでございまして、その2つの業務委託料が大きなものを占めているものでございまして、

以上でございます。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） すみません、大きい金額ではないのと、今コロナ禍の中なので、ちょっと確認だけさせていただきます。137ページ、国内交流事業費ということで、滝川市への旅費が54万2,000円、予算額出ておりますが、まずもって菜の花まつりということは4月ぐらいにやるのかななんて思ったのですが、まずこれ開催が、もうやることは決まっているものなのか、そして一応いろんな市民の方に我慢を強いている中で、こういったものに参加することが正しいのか、今まずお考えをお聞きします。

○分科会長（中島克訓君） 横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） お答えをいたします。

この旅費で大きな額がございまして、滝川市とこの友好親善都市を結びまして、結んだのが昭和57年ということで、令和4年度で丸40周年を迎えるものでございまして、過去におきましては、30周年記念のときに栃木市で行いまして、40周年記念式典につきましては滝川市でということで話があったようでございまして、そのために栃木市からの旅費ということで、これを組ませていただいているところでございまして、そのほかに、たきかわ菜の花まつりというものがございまして、そこへの旅費ということで、普通旅費については上げさせていただいているところでございまして、

以上でございます。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） それでは、その友好都市40周年式典は間違いなくやるということで、これに関しては参加は確定ということ、菜の花まつりはいかんとしても、それは確定ということでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） これは令和4年度の事業でございますので、予定されておりますが、その先につきましては、このような状況が続きますと、または新たにこのような状況が発生してしまいますと、そのときの判断になるかと思っておりますので、今の段階では40周年記念式典に参加するという考えの下、予算を組ませていただいたところでございます。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） かしこまりました。まだ先のことなのだとということなので、菜の花まつりということ、40周年記念式典と書いていなかったものですから、まずこれ菜の花まつりで32万3,000円の旅費なのかなと見えてしまいますので、確認させていただきました。

もう一つ、ごめんなさい、また同じようなのですが、その下、国際交流事業費、金華市等から訪問団の昼食代というのがあるのですが、これも来た場合という意味で取ればいいのでしょうか。では、すみません、一応確認します。来る予定があるというわけではないですよ。

○分科会長（中島克訓君） 横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） こちらも友好都市としまして行き来をしているところでございますが、ここ数年についてはやはり中止ということ、コロナだけではなく、台風19号の関係もございまして、中止ということになっているようでございます。こちらも予定として組ませていただいているものでございますので、このような状況ですということもありますので、あくまで予算上でつけさせていただいているものでございます。よろしく申し上げます。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） ありがとうございます。全般的にそうなのかなとは思えるのですが、例えばちょっとコロナの状況によりというのも何か入れてもらえると、もしかして強行するものがあるのかなという不安もあって質問してしまうこともあるので、そういった意味で私が質問したとご理解いただければと思います。ありがとうございます。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

ほか質疑ございませんか。

福田委員。

○委員（福田裕司君） ちょっと飛びます、301ページ。これも新規事業で、防災ハザードマップの改定委託費ということで1,900万円支出されておるのですが、この事業概要読んでいきますと、自宅や勤務先等の災害リスクの周知を図るため、全戸配布するということなのですが、私これ読むと、自宅以外に関係する勤務、職場にも配布するののかということをちょっと確認したかったですけれども。

○分科会長（中島克訓君） 間中危機管理課長。

- 危機管理課長（間中正幸君） 分かりづらい表現で大変申し訳ございません。配布につきましては、広報折り込みによる全戸配布が基本ということになりますけれども、それ以外に本庁舎の総合案内ですとか、あるいは危機管理課、総合支所の窓口等で配布という形を予定しております。
- 分科会長（中島克訓君） 福田委員。
- 委員（福田裕司君） そうしますと、全戸配布プラス総合支所等で配布ということで、件数ってどれぐらいになりますか。配布件数ですね。
- 分科会長（中島克訓君） 間中危機管理課長。
- 危機管理課長（間中正幸君） すみません、基本的に全戸配布ということですので何万部と、今手元、数字を持っておりませんが、全部で7万部ほど作成する予定であります。
- 分科会長（中島克訓君） 福田委員。
- 委員（福田裕司君） 配布時期についてはどのようにお考えでしょうか。
- 分科会長（中島克訓君） 間中危機管理課長。
- 危機管理課長（間中正幸君） 基本的に令和4年度中、1年間かけて作成しまして、年度内3月とかあるいは4月、5月とかのあたりに配布したいというふうに考えております。
- 分科会長（中島克訓君） 福田委員。
- 委員（福田裕司君） 別なやつでいいですか。その下、県合同防災訓練、これ負担金ですよ、たしか。事業費ではなくてね。負担金ということで、これも新規事業になっています。当然水害、本市は2度ほど受けていますので、いい事業かなとは思いますが、開催規模というか、その辺どのように考えているのか教えていただきたいなと。
- 分科会長（中島克訓君） 間中危機管理課長。
- 危機管理課長（間中正幸君） こちらの県合同防災訓練につきましては、本市と栃木県が合同で防災訓練を実施するというものでありまして、お話伺ったところ、例年参加者が1,300人、来場者が3,700人、合わせて5,000人規模の人が集まる大きなイベントということになるかと思っております。
- 分科会長（中島克訓君） 福田委員。
- 委員（福田裕司君） これも数の原理によって難しいところなのですが、私たち議員というのも、通常点検ですか、消防のああいうのをやっぱり見学というかすると、すごく感激するというか、あるのです。だから、できるだけ広い範囲で市民募集とかかけて、ではなくても、今消防団員が少ないとかそういう問題もありますので、ちょっとそういうのを絡めながら、広く広報していただいて、もちろん限度というのはあるとは思いますが、その辺考えながらやっていただければ、こういうのいいのかなと思いますので、ぜひ検討していただきたいと思うのですが、どうでしょうか。
- 分科会長（中島克訓君） 間中危機管理課長。

○危機管理課長（間中正幸君） ご意見承りまして、なるだけ大勢の市民の方が参加できるような形で進めてまいりたいと思っております。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ございませんか。

青木委員。

○委員（青木一男君） 145ページの（仮称）渡良瀬サイクルパーク管理運営事業費なのですが、これは事業別細説一覧表ですか、先ほどタブレットに入っていますということで、ちょっと見させていただきますと、これ新総合計画策定事業費と、その下に（仮称）渡良瀬サイクルパーク事業費であるのです。これ新総合計画策定の中に、そのサイクルパーク事業費というふうにあります。これが950万円ですかね。それと、この予算書には、その細かいことは載っていないのですが、タブレットの中には入っているのです。そのちょっと違いというのは、多分これ総合計画に対しての、中での事業費が業務委託料でなっているかと思うのですが、上はそういった総合計画に対しての委託事業費で、下はここにサイクルパーク管理事業費で977万6,000円ですか、それが載っているかと思うのですが、そういった意味合いでよろしいのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 横倉総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（横倉延男君） この145ページにありますのは、まずこの新総合計画策定委託事業費、それと（仮称）渡良瀬サイクルパーク管理運営事業費につきましては別の事業でございますので、最初の新総合計画策定委託業務はその名のとおりで、令和4年度いっぱい、まず1期目の総合計画が終了しますので、2期目に向けての作成の委託の事業費でございます。そして、次の渡良瀬サイクルパーク管理運営事業費については、これはまた別な事業になりますので、よろしく申し上げます。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） 多分その新総合計画策定事業費の中のというのは、ちょっと確認させていただきました。理解できました。

それで、ちょっと議員研究会等で何度か出てきていますけれども、この（仮称）渡良瀬サイクルパーク管理運営事業費、これ今年度大会、セミナーやイベントを行うという、この間説明があったかと思うのですが、まずこの業務委託する委託先というのをちょっともう一回教えてほしいのですけれども。

○分科会長（中島克訓君） 茂呂スポーツ連携室長。

○総合政策課スポーツ連携室長（茂呂一則君） お答え申し上げます。

令和4年度の事業でございますので、これから入札もしくは随契になるのか分かりませんが、どれだけ受けられる業者があるのか分かりませんが、なるべくサイクル関連の事業者に対して見積り等を徴収していきたいと考えております。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。



○委員（青木一男君） これ前、ちょっと私がお聞きしたかと思うのですが、あのときはちょっとはっきりした金額等が示されていないのかなと思うのですが、使用料とか利用客、また見込み客ですか、その収入等はある程度、多分概算で出ているのかなというふうに思うのですが、その辺をお聞きしたいと思います。

○分科会長（中島克訓君） 茂呂スポーツ連携室長。

○総合政策課スポーツ連携室長（茂呂一則君） お答えいたします。

令和4年度は、ここにも書いてあるとおり管理運営委託ということで、今回令和4年度、今のところゴールデンウィークに合わせてオープンできればいいなどは考えておりますけれども、あくまでもまだ公園条例の中で使用料等決めておりませんので、その運営委託業者のほうにお願いして、例えば子供の自転車教室とか、それとかそのほかにはいろいろ考えているのですけれども、ロードバイクセミナーとか、それとか障がい者向けの自転車教室とか、高齢者健康教室なんかで、そのイベントに参加していただく方々からの使用料、そちらをお取りするような感じで、そちらにつきましては180万円ほど予定しております。

以上でございます。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） これは要望なのですが、前回の説明のときに、本当に全国的にもこういったのは少ないということで、かなり注目されているということをお聞きしておりますので、ぜひ早めに強いPRしていただいて、栃木市の一つの目玉にさせていただければありがたいなというふうに思っております。スポーツにこれから力を入れていく市ということで、ぜひそれをもう本当に効果が出るような施策をお願いしたいと思います。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 要望でよろしいですか。

○委員（青木一男君） はい。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ございませんか。

天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 151ページ、先ほど予算補正のほうでもちょっと聞いたのですけれども、上段のほうでRPA、AIの整備事業費、ソフトウェア使用料とあります。これさっき説明を聞いた後、部長がちょっとまた耳打ちしてくれたのですけれども、基本的にこの事業で書いてあるのですけれども、下のほうです、手書き文書を自動的に電子データ化するということなのですが、まずこの対象するその文書というのが、例えば市民生活課から申込みか何か書いた、そういうものもこういうのに入るよとか、ちょっと具体的にまずお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 須見情報システム課長。

○情報システム課長（須見 誠君） お答えいたします。

AI-OCRにつきましては、市民から取りましたアンケート、そういった申込みがありましたものが手書きでありますので、それを読み取ってデータ化したもの、そういったものになります。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） ここには、ソフトウェア料101万2,000円とあります。令和3年度執行したのが、動作をするための設定作業なのだと。そうしますと、令和4年度、今年度予算でそれが本格的に使えるのかどうかの確認をお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 須見情報システム課長。

○情報システム課長（須見 誠君） こちらにつきましても、先ほど補正のときにありました運用支援事業、これにつきましては導入をしましたのでかからない。AI-OCRにしましても、導入費用というのを今年度使っておりますので、来年度は必要ないという形になりまして、運用費用だけを計上させていただいたという状況です。

○分科会長（中島克訓君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） ほぼ効率化で動いているという解釈でよろしいですか。

○分科会長（中島克訓君） 須見情報システム課長。

○情報システム課長（須見 誠君） 現在RPAにつきましては、5課で活用されております。AI-OCRにつきましてはアンケート調査とか、アンケートにつきましては単発的ではありますが、今7課から運用しているという状況になっております。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

○委員（天谷浩明君） はい。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、総合政策部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。どうもお疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行いますので、少しお待ち願いたいと思います。

〔執行部退席〕

○分科会長（中島克訓君） では、執行部よろしいでしょうか。

次に、経営管理部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の経営管理部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑をお願いいたします。

入野委員。

○委員（入野登志子君） それでは、歳入のほうで113ページのところで、下のほうでしょうか、市

有地土地売払収入というところがあるのですけれども、金額的には令和3年度と同じ金額で計上されているので、これが年間の目標なのかなとは思っているのですけれども、年間通して予定どおりにしているのかどうか。いっていないとすると、何か手段を考えられているのかどうかお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 白井管財課長。

○管財課長（白井秀明君） お答え申し上げます。

市有土地売払収入に関しましては、年間の予定の売上げに関しましては、おおむね予算どおりの売上げがされているところでございます。令和3年度に関しましては、その主な取組ということで申し上げますと、地域情報紙などへの掲載ということで、これ令和2年度以前もやっていたものがありますが、それに加えまして市有地売払いのマグネットを、それを公用車に貼り付けたり、あと周遊の関東バスですか、そこに広報を掲載いたしまして、それで市有地売払いの広報の周知などを行っているところでございます。

○分科会長（中島克訓君） 入野委員。

○委員（入野登志子君） 今説明していただいた中で、マグネットを公用車に貼り付けというのはどうということなのでしょう。

○分科会長（中島克訓君） 白井管財課長。

○管財課長（白井秀明君） お答え申し上げます。

マグネット等を、市有地売払いをしていますというような旨を記載したマグネットを、A3判ぐらいの、ちょっと大きいぐらいの用紙を作りまして、それをマグネット式にして、公用車の脇に貼って、それで市内行くときにそれを見てもらっているというようなことでございます。同様に関東バスについてもそのような、マグネットではございませんが、広報をバスの横に大きく掲載して、それで市有地を売っているのを周知してもらっているところでございます。

○分科会長（中島克訓君） 入野委員。

○委員（入野登志子君） 分かりました。ありがとうございます。市の財産を手放していくわけですから、本当に広く皆様にご協力をしていただきたいと思います。

それから、その下のところに不要品売払収入というところがあるのですけれども、これは去年よりは、令和4年は半分ぐらいの予算になっています。令和3年のときは、消防署の編成で消防自動車を出すというお話だったかなと思うのですけれども、令和4年度に関しましてはどのようなものが予定されているのでしょうか。不要品の売払いの収入のほうです。

○分科会長（中島克訓君） 白井管財課長。

○管財課長（白井秀明君） お答え申し上げます。

予算に関しましては、確かに令和4年度は令和3年に比べて、額的には半額ぐらいになってしまっていますけれども、これ消防自動車の売払ということ、令和3年度に関しましては1件当た

り100万円程度で売れるのではないかということで、12台予定していたわけですが、実際はその半分の50万円から60万円程度での売上げだったということで、その額が600万円ぐらいということで、令和4年度の予算も実績なんかを考慮して上げているわけですが、中身的には、令和4年度の場合はやはり消防ポンプ車が8台と、あと救急車1台ということで、全部で9台の公用車の売払いを予定しているところでございます。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

入野委員。

○委員（入野登志子君） 総合政策部の消防費の中で、消防自動車2台でしたっけ、買うのですよね。買うのがあって、そのときに老朽化したということ……3台でしたっけ、書いてありましたので、そういったものがここに含まれるということでよろしいのですか。結構何か台数多いなと思って。

○分科会長（中島克訓君） 臼井管財課長。

○管財課長（臼井秀明君） 令和4年度のその9台に関しましては、主に消防関係、消防団などの再編などによって余剰となった消防ポンプ車とかが多くありますので、その売買ということで9台ということでございまして、総合政策ですが、そこで買うことによつての差引きとかで予算を計上しているものではございませんで、主にその消防団の余剰になった車両を売るという考えでございします。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

ほか質疑ございませんか。

梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） 131ページです。公営住宅建設事業債ということで、市営住宅のリフレッシュ事業について内容を伺います。

○分科会長（中島克訓君） 小野寺財政課長。

○財政課長（小野寺正明君） ちょっとお待ちください。起債のお話になろうかと思いますが、お待ちください。すみません、ちょっと手持ちに資料がないので、後でお答えさせていただくということで、ちょっとまずご了承いただいてもよろしいですか。申し訳ございません。すみません。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。後で答弁ということで、よろしいでしょうか。

○委員（梅澤米満君） はい。

○財政課長（小野寺正明君） 申し訳ありません。

○分科会長（中島克訓君） では、よろしくお願ひします。

ほか質疑ございませんか。ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、経営管理部所管の質疑を終了いたします。

〔「今ちょっとお答えできなかった分の概要だけ」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） では、大野経営管理部長。

○経営管理部長（大野和久君） 今ちょっと後でお答えすると言ったのですが、もう終わってしまうので、概要だけ。市営住宅のリフレッシュ事業に関するものでございますけれども、実はこれご存じかと思っておりますけれども、市内に存在する市営住宅、これを年次計画を立てて、毎年その計画に沿った形でいろんな……

〔何事か呼ぶ者あり〕

○経営管理部長（大野和久君） 市営住宅のリフレッシュ事業、これは県に提出した事業計画に基づいて、毎年改修工事を行っております。その工事費に対する起債分ということでございます。場所についてはちょっと所管外なので、今手持ちに資料がございませんので、後でお答えさせていただきます。

○分科会長（中島克訓君） 梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） この事業についてはずっと続けてやる事業かなと思うのですけれども、例えば建築して30年ぐらいたったら、一時リフレッシュできれいにするとかそういう事業なのか、それと戸数がどのくらいやっているのかなということですよ。市営住宅、かなりありますから、それ毎年毎年やっていかなくは困るのではないかなと思っていますので、そこら辺はどんなふうを考えているのかなと思って質問したのですけれども。

○分科会長（中島克訓君） 大野経営管理部長。

○経営管理部長（大野和久君） 今梅澤議員がおっしゃられたように、これは毎年継続して行っております。ただ、その箇所については、古いところから順番に計画を県に提出して、それに基づいて行っておりますので、恐らく今城内町かどこかやっていると思うのです。ですから、その流れで、来年度あらかじめ予定されたところを工事をするという予定でございます。

○分科会長（中島克訓君） 梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） 築何年頃からやっているということが分かれば、後でもいいですから、教えてください。

○分科会長（中島克訓君） では、後で答弁ということでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、経営管理部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで暫時休憩いたします。

（午後 1時59分）

○分科会長（中島克訓君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 2時15分）

---

◎発言の申出

○分科会長（中島克訓君） 先ほど梅澤委員への答弁に関しまして、執行部より発言の申出がありますので、これを許します。

小野寺財政課長。

○財政課長（小野寺正明君） 先ほどは失礼いたしました。ご質問の市営住宅リフレッシュ事業の内容になりますが、令和4年度の予算といたしましては、本町の市営住宅の外壁改修、これの設計と、それと同じ設計になりますが、城内市営住宅1号棟、こちらの外壁補修の設計ですね。それと、もう一つ、大宮市営住宅のAからD棟の外壁、屋上防水、こちらも設計になります。

それと、具体的な工事、来年度に工事に入りますのが、城内南第2市営住宅の5号棟の外壁改修、それともう一つが城内南第2市営住宅の3号棟の、これは物置の関係になるのですけれども、そちらの改修と、こちらの工事等々をリフレッシュ事業で予定しております。

こちらの計画といたしますか、今後どうなるのだということになろうかと思いますが、そちらは栃木市公営住宅等長寿命化計画というような計画がございまして、こちらが平成30年度から2027年度までの10年間の計画がありまして、そこで市営住宅たくさんございまして、順次更新というかリフレッシュ、改修等々をかけていくと、そのようなスケジュールになっております。

○分科会長（中島克訓君） ありがとうございます。よろしいですね。

---

○分科会長（中島克訓君） それでは、次に地域振興部所管の歳入歳出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の地域振興部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑、よろしく申し上げます。

入野委員。

○委員（入野登志子君） ありがとうございます。主要事業にも載っているので、153ページのあるが嬉しい花やか事業と、その下も聞きたいところなので、まず、あるが嬉しい花やか事業のほうなのですけれども、主要事業のほうを見ていきますと、コンテストの開催というふうに書いてあるのですけれども、どういうふうな形でコンテストを予定されているのかお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 加茂地域政策課長。

○地域政策課長（加茂浩史君） お答えいたします。

当事業のコンテストにつきましては、来年度、この花やか事業に参加していただいた団体等を対象に地域の活動状況であったり、花の管理状況または良好な環境づくりの実践状況、花の美しさ等

々をプレゼン方式で発表していただきまして、審査員さんを設けまして、その方々に審査をしていただき、最優秀賞並びに優秀賞、特別賞等を差し上げるようなコンテストにしたいというふうに考えております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 入野委員。

○委員（入野登志子君） 主要事業の説明のところに、協力団体謝礼金の交付とか、お花の種の配布とか書いてありますけれども、これはこちらから団体の方が手を挙げて、ではこういう種でやってみてとかではなくて、自分たちが考えたものでプレゼンテーションして、審査員の方にはかってもらう。地植えのものとか、植木鉢のものとか、いろんな種類があると思うのですけれども、何かまだちょっとコンテストのイメージが湧かないものですから、そういった種類ごとにコンテストがされるのか、ちょっともう少し教えていただきたいと思います。

○分科会長（中島克訓君） 加茂地域政策課長。

○地域政策課長（加茂浩史君） お答えします。

まずは、あるが嬉しい花やか事業について若干、もうちょっと細かく説明させていただきますと、市民憲章にありますように、自然と伝統を大切に、美しい環境をつくり出すという行動指針を具現化して、市民と協働で住みよいまちづくり、さらに美しい花のあるまちづくりを推進していきたいというふうに思っています。

その事業を行っていただく団体等につきましては、自治会やボランティア団体、企業など5名以上の団体をお願いしたいというふうに考えております。その対象となった団体につきましては、市のほうから花の種を、種子を配布させていただきます。これは、どんなものでも構いません。その団体が希望するお花の種子を配布したいというふうに思っております。その種を遊休農地であったり、道路や公園の隣接地などにまいていただいて、年間を通して維持管理をしていただくということになっています。その年間を通して維持管理をしていただいたお礼ということで、謝礼を差し上げたいというふうに考えております。

この事業の趣旨に賛同して協力いただいた団体につきましては、その咲いている花の状況の写真であったり、途中の除草作業であったり、こういうふうに管理していますよというようなことを総合的に判断して、審査していきたいというふうに思っております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 入野委員。

○委員（入野登志子君） 分かりました。すばらしい事業だと思います。今年度こういう形でやって、せっかくやり始めて、もう来年終わりでは続かないので、協力いただいた団体の方には継続して、ぜひやっていただけるような流れをつくっていただければと思います。これ要望です。

次もいいですか。

○分科会長（中島克訓君） はい、どうぞ。

入野委員。

○委員（入野登志子君） その下の、あるが嬉しい街かどピアノ設置事業費ということであるのですが、テレビでも駅の構内でピアノを弾いている、そういったところ見たことがありますけれども、そういったことのイメージのものでよろしいのかどうかお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 加茂地域政策課長。

○地域政策課長（加茂浩史君） お答えします。

まず、この街かどピアノ事業ですけれども、場所は栃木駅構内の南北連絡通路にピアノを設置する予定です。あらゆる世代の市民や市内を訪れる方にいつでも気軽にピアノを弾いていただき、音楽のジャンルの垣根を越えた交流の場にしたいというふうに考えています。また、街かどピアノを起点としまして音楽を奏でる機会、音楽に触れる機会を常に身近なものとして定着させ、豊かな音楽文化が持続的に発展できるよう取り組んでいきたいというふうに考えています。

駅の南北連絡通路に設置をしまして、設置するピアノにつきましては、本年度で閉校します、藤岡二中のグランドピアノを活用させていただくことになっております。設置後は、午前10時から夕方6時頃までは演奏可能な時間にしたいなというふうに考えております。また、設置の際には、ちょっとしたイベントを今のところ考えていますので、それら詳細が決まりましたら、また議員の皆様にお知らせしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお伺いいたします。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 入野委員。

○委員（入野登志子君） 分かりました。自由ということなので、あと管理なのですけれども、10時から4時でしたっけ、その間このピアノが置いてあって、誰かが見ていないといたずらされたりされるのではないかと思うのですけれども、ピアノの管理方法とか、そういったことをちょっとどのように考えられているかどうかお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 加茂地域政策課長。

○地域政策課長（加茂浩史君） お答えします。

今回設置を予定しているピアノの場所は、南北連絡通路の若干東武栃木駅の改札口のほうに近いところになります。設置する場所につきましては、既に防犯カメラが設置されていて、そこが常時録画されるようになっております。その録画画像につきましては、栃木駅前の交番で確認できることになっておりますので、何かあった際にはその交番で画像を見せていただいて、その後、対処していきたいというふうに思っております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

大浦副分科会長。



○副分科会長（大浦兼政君） すみません、私もそのあるが嬉しい街かどピアノの件で1つ確認したいと思います。最近テレビで明石市のこの状況で、1人ででしか演奏してはいけないというルールがあって、親子で演奏したことで職員さんが止めに来て、それを見ていた市民が市長に投書をして、市長が謝るとというのがニュースでやっていました。ここの今回のこのルールというものは、例えば明石市は合奏というのか、合同でほかの、それはお母さんがバイオリンをやって、子供がピアノを弾くという形だったみたいなのですが、2人以上の演奏はしてはいけないとか、そういったルールはもう決まって進められているものなのかを確認させてください。

○分科会長（中島克訓君） 加茂地域政策課長。

○地域政策課長（加茂浩史君） 今のところ我々が想定しているのはピアノのみで、1人でやったり、例えば連弾、複数の方で弾いていただく想定ではございました。ただ、今議員がおっしゃったように、ほかの楽器も含めて演奏ができるかどうかは、ちょっと今後早急に検討してまいりたいと思っております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） 確かに公共の場所という部分がありますので、あまり大人数でやられて迷惑かけるということもあるので、ある程度のルールは必要となりますが、その一つのルールに縛られることなく、市民の方の感情をしっかりとご理解した上でルール、ある程度のいいあんばいでやっていただければということ要望として言わせていただきます。

あと、もう一つといいますか、全体的にこの地域振興部ですと、事業費だったり負担金だったり、補助金だったりというのが多々あると思いますが、基本的に、例えばで言いますね、歌麿を活かしたまちづくり事業費というものは、歌麿道中やらなくても、日頃からいろんな活動されているのは知っている……

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長、ページ数を。

○副分科会長（大浦兼政君） ごめんなさい、それは153ページです。ちょっとまずページ開く前に全体的な話で、あと例えば147ページの岩船山クリフステージ補助金というのが45万円、そういったもので、基本的にやらなくても出せるものなのか、それともやったものに対してしか出さないものなのか、それともそれは一つ一つで全部違うものなのか、161ページのにしかた子ども夏まつり、それは負担金という書き方なので、多分やらなければ出さなくて済むものなのですが、そこら辺ちょっとニュアンスの確認したいと思っています。

○分科会長（中島克訓君） 清水蔵の街課長。

○蔵の街課長（清水孝之君） 歌麿を活かしたまちづくり事業の関係について、ちょっとお答えを申し上げます。

この事業の補助金につきましては、今年度というかこの2年ぐらいですかね、コロナ禍の関係で

イベント等がちょっとできない状況が続いています。事業を行って使った費用については、補助金は事前に計画を出していただいてから支払っておりますので、もし使わないで多く余るような状況がございましたら、その補助金をある程度戻してもらいたいようなことを考えているところでございます。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） かしこまりました。

あと、ではクリフステージに関しての45万円はどのようなのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 岩崎岩舟地域づくり推進課長。

○岩舟地域づくり推進課長（岩崎 充君） クリフステージにつきましては、イベントの実施をした際に補助をするということで、実施をしない場合には補助を出さないということになっております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） いいですか。

○副分科会長（大浦兼政君） 了解しました。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ありませんか。

梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） すみません、157ページなのですが、渡良瀬遊水地の案内板を藤岡駅の構内に掲げたと。大きさがどのぐらいの大きさなのかと。

あとは、何枚あるのかということをお聞きしたいと思います。

○分科会長（中島克訓君） 山野井渡良瀬遊水地課長。

○渡良瀬遊水地課長（山野井広実君） お答え申し上げます。

まず、枚数でございますけれども、1枚でございます。

大きさににつきましては、申し訳ありません、ちょっと資料がないものですから、後ほどということでもよろしいでしょうか。

○委員（梅澤米満君） はい。

○分科会長（中島克訓君） 後でよろしいですね。

寺崎藤岡地域づくり推進課長。

○藤岡地域づくり推進課長（寺崎公夫君） 藤岡総合支所、寺崎と申します。

この事業につきましては、地域予算の提案事業で行いまして、180掛ける180と認識しています。

これ平成30年10月から設置しております。事業所管等は、遊水地課になっております。よろしくお願いたします。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） では、1年間のそこの借地料ではないけれども、そういう掲げる料金という

ことでいいのだね。すみません、間違いあったら。

○分科会長（中島克訓君） 山野井渡良瀬遊水地課長。

○渡良瀬遊水地課長（山野井広実君） 梅澤議員のおっしゃるとおり、1年間の使用料でございます。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

○委員（梅澤米満君） はい。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ございませんか。

入野委員。

○委員（入野登志子君） 329ページ、重伝建選定10周年記念事業費、これ、主要事業のほうにも書いてあります。多分これ県内初だったかなと思うのですけれども、記念誌を発行していくということもありますけれども、この記念誌をせっかく作って、活用はどのようにされるのです、活用。記念誌を作った後の活用。

○分科会長（中島克訓君） 清水蔵の街課長。

○蔵の街課長（清水孝之君） 10周年のこの記念誌につきましては、配布予定先として、市内の小中学校や全国のほかの伝建地区のほうに送付させていただき予定でございます。そのような形で活用していきたいというふうに思っております。

○分科会長（中島克訓君） 入野委員。

○委員（入野登志子君） もう一つ、主要事業のほうに記念講演会の開催というの書いてありますけれども、これはいつ頃の予定でやるのですか。

○分科会長（中島克訓君） 清水蔵の街課長。

○蔵の街課長（清水孝之君） 講演会の予定につきましては、令和5年の1月を予定してございます。

内容につきましては、伝建地区の保存審議会の審議会長の先生や文化庁の調査官あるいは栃木のふるさと大使等をお招きして、パネルディスカッションやそういったものをしていきたいというふうに考えております。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

ほか質疑。

青木委員。

○委員（青木一男君） 327ページですか、伝建地区拠点施設整備事業費、これ主要事務事業にあるのですけれども、2億4,000万円ちょっとという形なのですが、これ危険解体工事とか、安全対策工事とか、崩落対策工事というふうにありますけれども、ちょっと具体的な内容をお聞きしたいと思います。

○分科会長（中島克訓君） 清水蔵の街課長。

○蔵の街課長（清水孝之君） 令和元年度の末に、台風19号の影響で財政が厳しくなってくるということで、大型事業の見直しということが、方針が示されております。それに合わせまして、その方

針をちょっと検討してきたところなのですが、あそこのみそ工場跡地につきましては、必要な伝統的な建造物は残して、それ以外の建物は解体していこうということになりましたので、その解体をまずやっておきます。それから、残りの伝統的な建造物につきましてもかなり劣化が目立っておりまして、それらの補強とか、そういったこともやっていくような形でこの予算を上げさせてもらっているところでございます。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） 全体的な事業が大きいものですから、ちょっとつかめない部分があるのですが、ちょっと確認したいのですけれども、この全体の事業費というのはお幾らでしたっけ。

○分科会長（中島克訓君） 清水蔵の街課長。

○蔵の街課長（清水孝之君） 失礼しました。全体の事業費といいますと、みそ工場跡地の最後まで全体の工事ということでよろしかったでしょうか。それにつきましては、保存活用計画を議員の皆様にお示ししたときに、トータルで約20億円かかるかというようなお話をさせていただいたと記憶してございます。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） それでは、現在その金額等、またあとはその進捗の状況ですか、どのぐらいまでいっているのか、ちょっとお聞きしたいのですが。

○分科会長（中島克訓君） 清水蔵の街課長。

○蔵の街課長（清水孝之君） 現在計画に立てております1期工事、2期工事、3期工事という形で計画をしていたのですが、その1期工事分が今年度末におおむね終わる予定でございます。

〔何事か呼ぶ者あり〕

○蔵の街課長（清水孝之君） 1期工事が今年度末に終わる予定です。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） といいますと、令和4年度ですとどの辺までいくのか、何%ぐらいとかお願いしたいと思います。

○分科会長（中島克訓君） 清水蔵の街課長。

○蔵の街課長（清水孝之君） 実は令和4年度は不要な建物、危険な建物を解体するというのが令和4年度の事業になってきます。特にほかの建物を修理という形のもので進めていく状況では、まだございませんので、これから先、令和5年度以降、また修理とかそういったこと、整備を進めていければというふうには思っているところです。

○分科会長（中島克訓君） いいですか。

大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） 167ページ、市民活動保険料についてご質問させていただきます。こちらのほう、市民活動団体の社会貢献活動というのが、どこまでが含まれてどれぐらいの補償があ

るのか、大まかにご説明お願いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 加茂地域政策課長。

○地域政策課長（加茂浩史君） お答えします。

ごめんなさい、ちょっと確認です。市民活動保険料のことでよろしいのでしょうか。

○副分科会長（大浦兼政君） はい。

○地域政策課長（加茂浩史君） お答えします。

この事業概要につきましては、市内に活動拠点を置きます市民団体が市民活動中に起きた事故に対して補償するものでございます。保険料として、今回約95万円を計上させていただきました。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） これは自治会活動も含まれるのか、まずもう一度確認いたします。

○分科会長（中島克訓君） 加茂地域政策課長。

○地域政策課長（加茂浩史君） はい、自治会活動も含まれます。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） 私の町内でも、活発にいろいろやっているのですが、実はこのことあまり知られていないのです。自治会長も実は分かっていない方もいっぱいいらっしゃる、よく読めばどこかに載っているかもしれないのですが、当然育成会なんか子供を扱うもので、火を使ったりして、ちょっとやけどしてしまったとか、そこでちょっと医者にかかった金額どうすると自治会で話し合ったこともあって、前に調べたらこういうものがあるよというのは分かったのですが、活動するに当たり、例えば最初に名前を入れておかなければならないとか、そういう事前登録が必要なものなのか、活動後に言うだけで使えるものなのか、そこら辺もご説明お願いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 加茂地域政策課長。

○地域政策課長（加茂浩史君） お答えします。

この保険料につきましては、毎年自治会活動の手引というものを自治会長さんに配布させていただいています。若干ちょっと厚めの手引なのですが、その中にはこういうものがありますという内容の記載はさせていただいていますが、なかなか読み込むのが難しいということになりますと、ちょっと周知についてはまた考えさせていただきたいというふうには思っています。

また、自治会活動全般入りますので、その自治会活動内の構成員であれば、特に名前を登録しなければいけないとか、そういうものはございませんので、活動中に自らの意思で自治会活動に参加したということで、けがをしたとかということであれば、その保険は活用できますので、そういうようなもので対応していきたいと思えます。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） とてもいい保険だと思いますので、周知の徹底はもちろんのこと、あ

とごめんなさい、1点、通院幾らとか、死亡で幾らとか、そういうものちょっと分かれば。

○分科会長（中島克訓君） 加茂地域政策課長。

○地域政策課長（加茂浩史君） 申し訳ございません、ちょっと後で資料を、では確認して回答させていただきます。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） なぜ聞きましたかといいますと、独自で自治会でもかけている場合があるのですね。やっぱり夏まつりやるときに、別に1人50円分のということもあって、それが例えば内容によっては必要のないものかもしれないし、二重でかけておくことのほうがいいかもしれない。そういった判断もしていくべきかなと思ったので、あえて聞きましたので、改めて、例えば担当課に行けば、その資料はあるということでもよろしいですね。

○分科会長（中島克訓君） 加茂地域政策課長。

○地域政策課長（加茂浩史君） 担当課のほうにはございますので、後で提示させていただきます。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

ほか質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、地域振興部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。大変お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行いますので、少しお待ち願いたいと思います。

〔執行部退席〕

○分科会長（中島克訓君） 執行部、よろしいでしょうか。

次に、消防本部所管の歳入歳出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の消防本部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑ございませんか。

梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） 297ページ、消防施設維持管理費の中で、不動産賃借料97万3,000円があるのですけれども、これはどこの場所を指しているのか教えてください。あと、面積もお願いします。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） お答え申し上げます。

不動産賃借料につきましては消防団機械器具置場、それから水防倉庫を含めまして合計18か所ございます。水防倉庫は1か所のみになります。それぞれの面積は、その場所により様々でございますが、一番小さい面積でいきますと、水防倉庫の10平米です。一番大きい面積でいきますと、消防団機械器具置場で424平米でございます。

以上でございます。

○分科会長（中島克訓君） 梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） 全部総合計して幾つあります。424でいいのかな。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） 全ての面積を合計しましてということでしょうか。

○委員（梅澤米満君） はい。

○消防総務課主幹（中村 聡君） 分かりました。それでは、ちょっとお時間いただきまして、計算させていただきますので。

○委員（梅澤米満君） はい。では、ちょっと違うの。

○分科会長（中島克訓君） 違うのですね。

梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） それに299ページになりますが、消防水利施設管理費ということで132万4,000円、これは計上されていますけれども、水利施設の防火水槽と防火井戸、これ2つあるのですけれども、幾つぐらいあるのだから教えてもらいたいなど。

○分科会長（中島克訓君） 中山警防課長。

○警防課長（中山全良君） お答え申し上げます。

防火水槽のほうは全部で4基の修理を予定しております。防火井戸のほうも2基の修理を予定しております。

以上となります。

○分科会長（中島克訓君） 梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） 修理をするのは分かりましたけれども、栃木市内に幾つあるのかということをお聞きしたいなと思ったのですけれども、お願いします。

○分科会長（中島克訓君） 答弁をよろしくお願いします。

中山警防課長。

○警防課長（中山全良君） すみません、手持ちに今ちょっと資料のほうございませんので、後ほどお答えさせていただきます。

○分科会長（中島克訓君） 梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） では、後ほどお願いします。

それから、防火井戸というのはどういう、防火水槽というのは分かるのです、藤岡町で水槽ありましたから。防火井戸というのが、ちょっとどういうのかなと納得していないのですけれども、教えていただきたいと思います。

○分科会長（中島克訓君） 中山警防課長。

○警防課長（中山全良君） お答え申し上げます。

防火井戸というのは、約90センチぐらいのコンクリでできた、それが地中に埋め込んでありまして、それで地下水が、浅いところ、そこから水が湧き出てくる。それを消防水利として使うというやつが防火井戸というやつです。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 梅澤委員。

○委員（梅澤米満君） それは栃木市だけですかね。

○分科会長（中島克訓君） 中山警防課長。

○警防課長（中山全良君） これは栃木市はもちろん、藤岡町のほうは防火井戸というよりも鉄管が打ち込んであるやつがあるのですが、それが防火栓というふうな名称でなっております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。いいですか。

○委員（梅澤米満君） はい。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） すみません、ページというわけではなくて、ちょっとまず質問なのですが、今ずっと話題になっていました消防団の団員確保のための予算というのはどこに入っているのか、まずお聞かせください。PR等。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） お答え申し上げます。

消防団員の運営費というものがございまして、ページ295です。こちらに消防団員の人件費が含まれているところであります。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） 人件費ではなくて、消防団員を確保するためのPRの、例えば印刷代であったり、活動費だったり、そういったものはあるのか。ちょうど今が、まさにそういう話が各議員の方からも質問がありましたので、どこに含まれてどのように使われているのか聞きたいと思ったのですが、いまいち分からなかったもので、聞かせてください。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） 今申し上げました295ページに含まれております。こちらに消耗品等が運営費の中に含まれている状況です。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） 消耗品と申しますと、何か配布するものという感じになるのかもしれませんが、ちょっとあまり消防団確保のための資材というものが、ちょっと記憶が、ごめんなさい、ないものですから、どういったものがあるのか教えていただけますか。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。



○消防総務課主幹（中村 聡君） 消防団の中で毎年作成しております、火伏という広報紙がございます。こちらは、こちらの消耗品の中で購入しているところであります。また、予算化はしていないものでありますけれども、国から配布されているポスターや広報用DVD、そういったものもございます。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） ここで申しているものか、ちょっと止められたらあれですが、やはりそのPRというものがうまくいかないからこそその団員確保が難しいというのがあるので、火災予防週間などに地域の自治会さん、特に育成会なんかと協力して、お父さんとお母さん、子供で参加してもらったりしながら、例えばそのときだけは消防車両に子供を乗せられて一緒に地域を回るとか、そういうことで家族にPRをしていきながら、お父さんに対して消防団のイメージアップを図り、消防団確保をやっていくこともいいなと思っていますので、要望になりますが、そういったものも含め、消防団確保の努力をお願い申し上げます。要望で構いません。

○分科会長（中島克訓君） 要望で、よろしく申し上げます。

ほか質疑ございませんか。

天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 1つお聞きします。297ページなのです、下の方ですね。消防団機械器具置場等整備事業で、解体工事ということになっております。こちらの細かい内訳見ますと、不要となった消防団機械器具置場の解体をすると。2つあるのです、大平2の2と大平3の3ということで、これに至った経緯、例えば人員整理して不要になったよとか、古くなったから解体するよとかという、その内容を確認させてください。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） お答え申し上げます。

消防団の機械器具置場に関しましては、今年度4月に再編となりまして、市内合計13か所の機械器具置場が統合等の結果で不要となります。今年度につきましては、3か所の機械器具置場が解体をしたところでございます。残り10か所のうち、賃借料が発生しているものから順次解体をしていくところではありますが、地主等との協議の中で、どうしても急いで解体してほしいという要望があれば、それも踏まえて計画的に実施しているところであります。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

ほか質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、消防本部所管の質疑を終了いたします。

中山警防課長。

○警防課長（中山全良君） すみません、先ほど梅澤委員のほうからご質問のありました、市内の防火水槽と防火井戸の設置数なのですが、市内で防火水槽は1,299基、防火井戸のほうが367基設置しております。

以上になります。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） 私のほうから、先ほどの梅澤委員の借地の件ですね、こちらの合計面積をお答えいたします。

合計3,678.84平米でございます。

以上です。

〔「すみません、これは全部栃木市、旧栃木市なんですかね」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） 栃木市内に消防団の機械器具置場を設置しておりますけれども、その中の賃借料が発生しているところでございます。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） 質疑ないようですので、消防本部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行いますので、少しお待ち願いたいと思います。

〔執行部退席〕

○分科会長（中島克訓君） では、執行部よろしいでしょうか。始めますね。

次に、会計管理者、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の会計、議会、選管、監査を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑ありませんか。

〔何事か呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ちょっと待っていて。

質疑よろしいでしょうか、ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、会計管理者、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局所管の質疑を終了いたします。

◎閉会の宣告

○分科会長（中島克訓君） 以上で当分科会の審査は終了いたしました。

なお、分科会長報告の作成については、正副分科会長にご一任願います。

また、繰り返しになりますが、3月16日水曜日午前10時から予算特別委員会全体会において分科会長報告、質疑、討論、表決を行いますので、よろしく願いをいたしたいと思います。

それでは、これもちまして予算特別委員会総務分科会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

（午後 2時57分）